

One day, there was a mouse living in a big house in the city that went to visit another mouse living in a hole under a tree.

"Hello, how have you been?"

"Long time no see... This place is very far from my place indeed. I'm already tired."

The country mouse prepared a feast to welcome the city mouse.

There were pieces of cheese, bread and some corn.

The two mice enjoyed chatting over meal.



After the meal, the city mouse and the country mouse were relaxing by the fireplace.

"It was so much fun. Did you like the food?"

"Yes I did, but I think what I usually eat is much more delicious. Hey why don't you visit my house sometime? It must be boring if you just stay here in the country every day."

"Hmm, let me think… OK, I can give it a try"

Early in the morning on the next day, the two mice headed to the city.



あるひ、きの したの あなぐらに すんでいる
ねずみの いえに、りっぱな おやしきに すむ、
まちのねずみが あそびに きました。

「やあ、こんにちは。げんきだったかい？」

「ひさしぶりだね。・・はあ、それにしても、
やっぱり ここは すこし とおいな。
もう つかれちゃったよ」

いなかのねずみは、まちのねずみを もてなそうと、
ごちそうを よういしました。
チーズの カケラや、パンの くず。
トウモロコシの つぶなど。

にひきは おしゃべりを しながら、
たのしく しょくじを とりました。



しょくじを すませた ねずみたちは、
だんろの まえで くつろいでいました。

「たのしい しょくじだったね。おいしかったかい？」
「おいしかったけど、ぼくが いつも たべているものの
ほうが、ずっと おいしいかな。なあ、どうだい。
たまには きみが ぼくの おやしきに
あそびに きなよ。まいにち いなかの
あなぐらの なかじゃ、つまらないだろう？」
「う~ん、どうしようかなあ・・それじゃあ、
いちどだけ いってみようかな」

つぎの ひの あさはやく、
にひきは まちを めざして しゅっぱつしました。

